

講師紹介

◆秋月 謙吾(あきづき けんご)氏 京都大学大学院法学研究科教授

1985年京都大学法学部卒業、京都大学法学部助手。1988年 同助教授、1989年からピッツバーグ大学政治学大学院留学、帰国後の2001年から京都大学法学研究科教授。2006年～2010年京都大学公共政策大学・法学研究科教授。また、1997年からウッドロー・ワインソン国際研究所短期招聘研究員、2001～2002年世界銀行コンサルタントをつとめる。専攻は行政学、地方自治。

主な著作として、『社会科学の理論とモデル(9)行政・地方自治』(東京大学出版会、2001年)、論文として、「ガバナンスの時代の地方自治」村松岐夫編『テキストブック地方自治』(東洋経済新報社、2006年)、「地方分権改革——比較分析に向けての序論」『法學論叢』152巻5・6号(2003年) 等がある。

◆北川 正恭(きたがわ まさやす)氏 早稲田大学大学院公共経営研究科教授

1967年早稲田大学第一商学部卒業。1972年三重県議会議員当選(3期連続)。1983年衆議院議員当選(4期連続)。1995年三重県知事当選(2期連続)。「生活者起点」を掲げ、ゼロベースで事業を評価し、改革を進める「事業評価システム」や、情報公開を積極的に進め、地方分権の旗手として活動。達成目標、手段、財源を住民に約束する「マニフェスト」を提言。2期務め、2003年4月に退任。

現在、早稲田大学大学院公共経営研究科教授、「新しい日本をつくる国民会議」(21世紀臨調)代表。2009年から地域主権戦略会議構成員。

主な著書として、『マニフェスト進化論』(生産性出版、2007年)、『マニフェスト革命～自立した地方政府をつくるために～』(株式会社、2006年)、『生活者起点の「行政革命」』(株式会社、2004年)等がある。

◆林 宜嗣(はやし よしつぐ)氏 関西学院大学経済学部教授

1978年関西学院大学大学院経済学研究科博士課程修了、関西学院大学経済学部助手。1986年経済学博士学位取得。

1988年から関西学院大学経済学部教授、現在に至る。1992～1993年ロンドン大学客員研究員、1994～1996年経済企画庁経済研究所客員主任研究官を兼任。

専攻は財政学、都市経済論。

主な著書として、『分権型地域再生のすすめ』(有斐閣、2009年)、林 宜嗣+21世紀政策研究所監修『地域再生戦略と道州制』(日本評論社、2009年)、『新版 地方財政』(有斐閣、2008年)等がある。

◆尾池 和夫(おいけ かずお)氏 財団法人国際高等研究所所長

1963年京都大学理学部卒業、京都大学防災研究所助手。1972年京都大学理学博士。1988年京都大学理学部教授。1997年京都大学大学院理学研究科長・理学部長・評議員。2001～2003年京都大学副学長。

2003年京都大学総長。2004年国立大学法人京都大学総長(2008年まで)。

2008年財団法人国際高等研究所フェロー招聘。2009年財団法人国際高等研究所所長、現在に至る。

1995～1997年日本学術会議阪神・淡路大震災調査特別委員会委員。2008年から日本ジオパーク委員会委員長。専攻は地震学。

主な著書として、『日本のジオパーク—見る・食べる・学ぶ』(ナカニシヤ出版、2011年)、『高等研選書22 地震を知って震災に備える～京阪奈地域を中心として～』(国際高等研究所、2009年)、『変動帯の文化—国立大学法人化の前後に～』(京都大学出版会、2009年)等がある。